

学芸会

～高学年のがんばり～

高学年くろーぶ

10月21日に学芸会がありました。ポスターを見たお客さんや保護者の方々が来てくださいました。5.6年生は、演奏と劇をしました。5年生は**栄光の架け橋**と**虹色**を演奏しました。木琴や鉄琴などふだんは、あまり使わない楽器を使って演奏していましたが、上手にできていました。6年生は最後の学芸会で「**夢からさめたゆめ**」という劇をしました。最後の劇なので、自分の殻を破りきって演じていました。他の学年に聞いてみたところ今回の6年生の劇が一番おもしろかったと言ってくれました。最後の劇をたくさんの人に楽しんでもらいました。

5年生

2～3週間、限られた時間の中で楽器練習をあいた時間で一人ひとりがちょこちょこしたことをやっていて、器楽が「虹色」「栄光の架け橋」、合唱は、「とも旅立ちの日」5年生全体で学芸会のために練習してきました。お客さん（地域の人や親など）に成長した僕たちの姿を見てもらえました。そして5年生の目標の感動や感謝を伝えられた。学年目標の「自進」のように5年生1人1人が自分で前に進んでいきました。これからも「自進」を胸にこれからも前に進んでいきます。

6年生

・今年が最後の学芸会。どの学年よりも今年の学芸会に対する気持ちは強かったです。3年生のころの劇とは違い一人一人が新しい振り付けやおもしろくする場面など場面によってリーダーを中心にして、劇を完成に近づけました。2～3週間にわたって自分たちの考えた工夫をしてお客さんが楽しめるかなどを考えて完成しました。歌も練習するたびに上手になっていき、観客全体を感動させることができました。

まとめ

高学年以外の学年も、劇や音楽などでそれぞれ学芸会を楽しく盛り上げてくれて、練習の成果を本番に発揮して1年前より成長した姿をお客さんに見せられていました。来年も見えてない人も楽しめるような学芸会になるでしょう。

別海中央小学校
広報委員会